

プレゼンテーション集中講座 (2)

平成 24 年 10 月 11 日

18:25-18:53 プレゼンテーションする前の準備、時間配分等
18:53-19:08 比喩が示すもとの言葉を推測する練習
19:08-19:18 ある言葉を比喩で表現する練習
19:18-19:35 誰にでもわかってもらえるようにプレゼンテーションを構成する
19:35-20:00 プレゼンテーション二つ+質問・フィードバック

今回は比喩についてのグループ内での演習とプレゼンテーションを行ったので、先生からの説明・アドバイスは前回よりも少なめです。プレゼンテーションに関する説明・アドバイスはパワーポイント¹を参照してください。ここでは、特に注意すべき点、見落としがちな点を以下に述べておきます。

①図や画像を用いて分かりやすくする工夫は多くの人ができていると思いますが、分かりやすさを意識するあまり、本論に入るまでの説明が冗漫で本論とのつながりが見えない場合が散見されます。**Introduction** に使える時間は約 1 分です。「定義づけが命！」の学術分野もあるためバランスをとるのは難しいのですが、本論に関係のない説明は省略するなど、あくまでも自分の主張・証明する内容に関連する最小限の説明を心がけましょう。この点、説明を最小限かつ簡明にできる点で比喩は有効です。

②専門用語でなくとも、できるだけ簡単な言葉で説明すること。ただし、プレゼンテーションで専門用語を一切使用しないことは困難なので、専門用語に言及した後に短い説明を加えるなどの工夫が必要です。辞書の訳語の中には、ネイティブスピーカーですら理解できないような使用頻度の低い、難解な言葉もあります。その場合は、誰にでもわかるように、自分の言葉で説明して下さい。

¹ パワーポイントスライドの **Resources** とは、プレゼンテーション後の質問に答える際に参照する可能性のある本や資料のことで、多くは論文執筆の参考文献です。ただし、質問の際に常に参照する必要はなく、万が一のため、あるいは安心感を得るための"お守り"のような感じです。本シンポジウムの質問時間は 5 分ですので、内容について突っ込んだ質問をされた場合は、簡単に応答した後"regarding to the detail, I would like you to/please refer to my paper" とうまくかわす方が得策です。

<メッセージ>

来週は **3-4** 人が皆の前で発表予定です。プレゼンテーションでは、自分なりの工夫・改善を皆に分かるように示してください。また、フィードバックはあくまでも"アドバイス"なので、それを自分で咀嚼した上で自分なりの修正を加えるというスタンスをお願いします。プレゼンテーションをする度に修正点を見つけ改善を行うよう心がければ、場数を踏むごとに上達すると思います。

※ 講座の中での発表は、できたほうがベターですが必須ではありませんので準備が整っていない場合でも、気兼ねなく授業に参加してください。集中講座終了後 **11** 月にも練習会を設けて練習の場を提供する予定です。